



# ～デジタル・シチズンシップ教育号～

2023年3月9日(金) 15:40-16:30

熊本県立東稜高等学校第一学年 オンライン授業(zoom使用)



## デジタル・シティズンシップとは 文部科学省資料より引用

欧州評議会(2020)Digital Citizenship Education Trainers' Pack

“デジタル技術の利用を通じて、

社会に積極的に関与し、参加する能力のこと”

デジタル・シティズンシップは、コンテンツの作成や公開、交流、学習、研究、ゲームなど、あらゆるタイプのデジタル関連の活動を通じて表現することができます。効果的なデジタル・シティズンシップは、幅広いデジタル・コンピテンシーに加え、オンライン消費者意識、オンライン情報とその情報源の批判的評価、インターネットのプライバシーとセキュリティの問題に関する知識など、デジタル・シティズンシップに特化した能力も求められます。また、他者の尊重、共感、民主主義や人権の尊重など、幅広い一般的な市民活動能力にも依拠します。

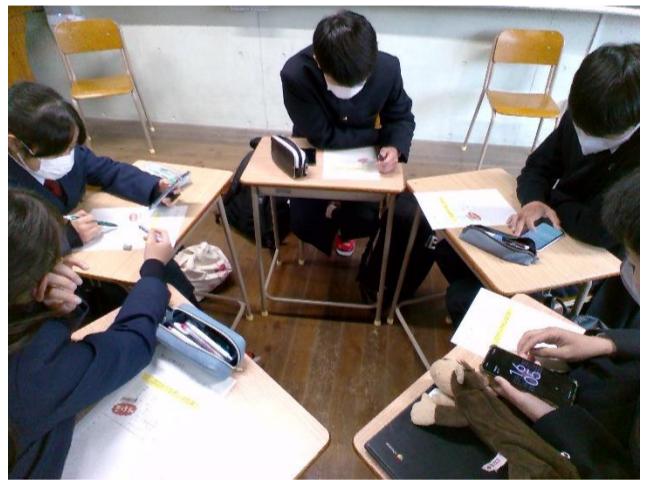
坂本旬(2020)



## ↓当日の活動の様子(写真)



資料を見て気づきをまとめる



スマホで調べながらグループ討議



クラスの代表がZOOMで発表

めあて

- ①将来に向けて、賢いネットの使い方を考える
- ②「リツイート」「いいね」等の社会的責任を考える
- ③賢く使うためにフェイクニュースを見破るポイントを知る
- ④賢く使うために詐欺サイトを見破るポイントを知る
- ⑤賢く使うためにグループで知恵を出し合い、共有する

## 授業の展開と生徒の活動

①竹内先生より、スマートフォンの普及によりネット社会が欠かせない存在になった現代において、どのように関わっていくのか問題提起が行われました。

“禁止、制限ではなく、いかに賢く使うか”

②竹内先生と大学生の協力で製作されたネット利用(主にSNS)に関する動画を見て、気づきやその危険性についてグループで討議しました。

“情報の真偽を確認せず、誤った情報を拡散すると罪に問われることもある”

③ネットに実際にあった危険なページを見た目だけ再現したものをプリントで生徒へ配付。その怪しい点についてクイズ形式で探し、発表しました。

**ちょっと待って①**

自分のスマホ等を使って、怪しいと思うところを探してください。

<https://www.omoshironews/corona.jp>

**コロナワクチンは危険！**

国立感染中央研究所は2020年8月、「コロナワクチン接種後、ラットの98.7%が3年以内に死亡」と報告。荻生博之教授(黎明医大)は「抵抗力の弱い子どもの接種は控えるべきだ」と警鐘を鳴らした。

※ラット=ネズミ。特に、動物実験に用いるシロネズミ

#コロナ対策 #ワクチン危険

**ちょっと待って②**

自分のスマホ等を使って、怪しいと思うところを探してください。

<http://www.gekiyasu.jp>

**激安ショップ** 1985年創業 信用第一の店 100%正規品保証！

ホーム 商品一覧 選品対応 お問い合わせ

業務用ビデオカメラ：国内有名メーカー新品！  
販売価格 298,000円→24,800円（在庫処分特価）  
送料無料

購入

家庭用椅子：品質保証でございます  
販売価格 28,000円→2,980円（在庫処分特価）  
送料無料

購入

会社概要  
社名：激安ショップ  
住所：東京都新宿区  
連絡先：info@gekiyasu.com

■送料・配送：送料無料 全域3日届け確保  
■支払い方法：〇〇銀行▲支店 XXXXXXXX  
オオサカタロウ

# 情報モラル教育～賢く使うために～

兵庫県立大学 竹内和雄先生

甲南女子大学 富田幸子先生

## 授業のねらい、方向性

- ①これからの時代、ネットを使いこなす必要がある
- ②便利な一方、危険や落とし穴がある
- ③自律してネット利用できるようになるための学習が必要

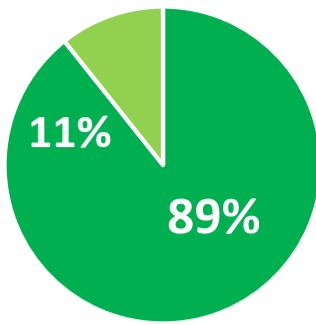
## 東稜高校HP 学校の日常blog

【1年生】情報モラルLHR(2023/3/9)  
に当日の様子がアップされています



# 授業を終えての生徒の感想

今日の授業はどうでしたか？



- とてもよかったです
- よかったです
- あまりよくなかった
- よくなかったです



Q: 賢くネットを使うために気をつけるべき点、授業の感想などを記入してください。

## ＜ネット利用の危険性に気づいた＞

- ・ネットの中には様々な落とし穴があるんだと知りました。これからはこの間に気づけるように、安易に信用しないようにしようと思いました。
- ・ゲームで知り合う人が多いので、個人情報など気をつけようと思いました。
- ・ネットには危険な情報がたくさんあると学んだので、これからネットを使うときは気をつけながら使おうと思った。怪しいところを見つけるのはとても難しかった。
- ・自分が日頃使っているインターネットの利用の中にも危険性があるということが再確認できました。これからは更に気をつけ危険性を見分ける能力をつけていきたいです。
- ・日常的に利用しているネットのどのようなところに危険が潜んでいるかを知ることができました。ネットを利用するときは、大丈夫だらうと慢心せず、まずは怪しくないか疑うことから始めようと思います。
- ・まず情報を鵜呑みにしないことが第一だと思いました。明らかに怪しいサイトを開かないことや、疑わしいサイトは今回の授業で学んだようにURLなどを確かめて簡単に信じないようにしようと思います。
- ・何もかもすぐ信じるのではなく、一旦少し疑ってから注意深くネットに接することが大事だと思いました。私だけでは分からなかったことが、他の人は色々気付いていたので、すごいなと思いました。”



## ＜何気ない行動のリスクに気づいた＞

- ・身の回りや安易にツイートすることは危険が多いことがわかったので、これからは誤情報か正しい情報かを見極めていきたい。
- ・普段何気なくしていたリツイートやいいねが犯罪につながることがびっくりした。
- ・軽い気持ちでしたリツイートやいいねが多額の損害賠償金を払わないといけない事案に発展してしまう危険があることやフェイクニュースや詐欺サイトの見分け方がちゃんとあること、自分がトラブルにあった際相談できる機関にどのような組織があるかを今回の授業で学ぶことができました。”

## ・ネットで困ったことがあつたら、188に連絡しようと思います。

※消費者ホットライン「188」は、最寄りの消費生活センター等をご案内する全国共通の電話番号です。  
消費生活中でトラブルや困ったことについて相談したいときは、消費者ホットライン「188(いやや！)」をご利用ください。最寄りの消費生活センターや消費生活相談窓口をご案内し、消費生活相談の最初の一歩をお手伝いします。引用：消費者庁



## ＜授業からさまざまな学びを得た＞

- ・私はネットは便利な一面怖い一面もあると知ってはいたけどトラブルに巻き込まれないようにする方法はあまり知らなかつたので今回詳しくしてよかった。これからの時代絶対にネットは必要なのでうまくネットと付き合っていきたいと思った。
- ・正しい知識を蓄えて、賢くネットを使おうと思った。
- ・これからも長い間向き合うことになると思うので、本当に信用して良いサイトなのかとか見極めていきたいと思いました。楽しくみんなと学ぶことができてよかったです。
- ・いいねやリツイートも危険があるということや、フェイクニュースの気づき方、すべての情報を鵜呑みにしないことなどが勉強になりました。毎日長時間使用するので気を引き締めて使おうと思いました。”
- ・ネットに書いてある情報は、細かい部分まで見ないと本当かどうかわからないということが分かりました。これからは今まで以上に何かしらネットを利用する際は隅々まで見て慎重に選択していくと思います。
- ・私は詐欺とか自分はそういうのに騙されないと思い込んでいました。ですが今日の動画や先生の話とかを聞いて自分もそういうのに巻き込まれる可能性があると思いました。だからこれから大丈夫かチェックしきをつけたいです”
- ・ネットに書いてある情報を簡単にすべて正しいと思ってはいけないことを学びました。今までネットの情報を簡単に信じていたけど授業を受けて本当に正しいのか考えることが大切だと分かったのでこれからはすぐに信じるのではなくて一度自分で考える習慣を身につけていきたいと思います。
- ・“！”“？”を使ったニュースはないということを初めて知りました。ニュースを見るときはいつもより注意してみようと思いました。ネットでなにか購入する際も本当かどうか見分けて購入しようと思います。
- ・URLのhttpに“s”がついていなければ暗号化されていないサイトということや、報道は“？”や“！”を使わないという普通に過ごしていたら気づかなかつたであろう偽の情報の見分け方を知ることができました。
- ・今回の授業では実際にあった事件や再現した画像を見て、情報の信憑性がなかったり詐欺だったりと見分けるのがとても大変でも他のクラスの人の意見などを聞いて見分けるコツがなんなくだけど理解することができたと思います。それと、情報に対する考え方を変わり、ネットの情報を見るときはもっと気をつけたいなと思います。
- ・自分が知らない情報の扱い方を知ることができたし、専門の先生のお話を聞いてとてもためになりました。自分たちはこれからたくさんの情報と付き合って生活していくかないと行けないので、こういう機会を与えてくれてとてもありがたいと思いました。
- ・自分たちで考える作業が多くて楽しかったと同時にネットのことを改めて考える事ができて良かった。
- ・皆で話し合い、怪しいところを見つけることでその情報のどこが間違っているのかを見つけ、ネットを使う時に気をつけるべき点を確かめることができました。これから成長するにつれてインターネットで買い物をする機会が増えると思うのでそういうことに気をつけて使っていこうと思いました。
- ・賢くネットを使うためには自分の行動が正しいのか実行する前によく考えて行動することが大切だと思った。今一度自分の行動を振り返ってみようと思う。
- ・ネットの利用をする場合は誰が見ても嫌な気持ちにならないツイートをすることを心がけ、誤った情報もあるので素直に受け入れないようにする。
- ・何事もすぐに信じたりせずにまずは疑いの目を持つこと、そしてむやみに拡散したりせずにその情報が本当に正しいのか自分で調べたりしようと思った。班との交流もあったことで自分では気づくことができなかつたことも発見することができたので良かったなと思った。
- ・詐欺サイトやフェイクニュースなど身の回りにも危険なことがたくさんあるということを改めて感じました。授業の中で見分け方を学ぶことができたので普段からも気をつけて、騙されないようにしたいです。自分の投稿が大変な事件に繋がるかもしれない、自分の行動に責任を持っていきたいです。
- ・ネットを使う際に気をつけることを具体例を使って知ることができてよかったです。詐欺サイトの見分け方（URLに鍵マークがない、新聞記者は「！」などを使わない、名前や組織が実際に存在するかを調べることの大切さなど）を知ることができてとてもためになった。



## 講師紹介

### 竹内和雄先生

兵庫県立大学環境人間学部  
人間形成コース 准教授

生徒指導を専門とし、ネット問題、いじめ、不登校等、課題を持つ子どもへの対応方法について研究されています。

文科省学校ネットパトロール調査研究協力者、総務省青少年インターネットWG構成員、総務省（近畿総合通信局）「スマートフォン時代に対応した青少年のインターネット利用に関する連絡会」座長など、文部科学省、総務省等で、子どもとネット問題等についての委員を歴任されています。Yahoo!Newsにも多くの記事を出されています。2013年ウィーン大学客員研究员。教育学博士。（参考：兵庫県立大学HP）

### 竹内先生の著作物の紹介

- ・こどもスマホルール 賢く使って、トラブル回避！  
(時事通信出版局)
- ・イラスト版 10分で身につくネット・スマホの使い方  
トラブルを回避する34のワーク（合同出版）
- ・10代と考える「スマホ」ネット・ゲームとかしこつきあう（岩波書店）
- ・家庭や学級で語り合うスマホ時代のリスクとスキル  
スマホの先の不幸をブロックするために  
(北大路書房)

### 富田幸子先生

甲南女子大学文学部  
日本語日本文化学科 講師

生徒指導を専門とし、開発的生徒指導、特別活動、いじめ問題、国語科教育を研究テーマとして活動されています。

学内の活動以外にも、スマホ・ネット啓発活動を中心に様々な講演活動も行い、京都府警ネット安心アドバイザーとしても活躍されています。

学校教育学修士（参考：甲南女子大学HP）